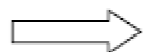


テーマ：「きずな」で育む、9年間のまなびの場

「きずな」「連携」で育む3つのテーマ

- ・ 小学校と中学校の「きずな」
- ・ 地域と学校の「連携」
- ・ 歴史や周辺環境との「調和・共生」



- ・ 「まなびのみち」・・・子どもたちを迎え入れる小中一貫校の顔
- ・ 「交流ホール」・・・9年間を通じた活動の場 きずなを育むシンボル、活動の拠点
- ・ 「スポーツストリート」・・・校舎、グラウンド、体育館等を結び、活動が見える

1) 子どもたちが光輝く小中一貫教育を推進する学校

○前期・中期・後期のまとまりに即した系統的、組織的な教育指導が行える施設

- ・ 前期 → (学級担任制)
- ・ 中期 → (教科担任制への移行)
- ・ 後期 → (主体的、発展的な学習環境)

○多様な異学年交流ができる施設

- ・ 交流ホール
- ・ 回遊性のある廊下などの動線
- ・ 活動の様子が互いに見える

○多様な発達段階の子どもたちが、のびのびと活動できる空間や施設

- ・ 低学年と高学年の生活エリアを分ける (昇降口、主な動線)、(メイングラウンド、サブグラウンド、遊具スペース、ピオトープなど)
- ・ 搬入車両などバックヤードと、生活エリアを分離する

○小・中学校教員が協働して一つの学校として機能する施設

- ・ 職員室など管理部門は1階に集約
- ・ 前期・中期・後期に合わせた、教員と子どものふれあいを可能に

2) 多様な教育課題に対応できる学校

○機能性や柔軟性を持つことにより、多様な教育内容や教育方法に対応できる施設

- ・ 1学年3～4CRを基本とし、小学校は2学年を1単位とするユニットを構成
- ・ 多目的スペース
- ・ 多目的教室を設け、特別活動や少人数指導に対応

○主体的な活動の支援や豊かな創造性を引き出す空間や施設

- ・ 「自然」との出会い (いこいの園、デッキ、バルコニー)
- ・ 「創造」との出会い (ギャラリー、多目的スペース)
- ・ 「情報」との出会い (メディアセンター)
- ・ 「ひと」との出会い (交流ホール、「まなびのみち」)

○豊かな心、健やかな体を育むことができる施設

- ・ 学校・地域の歴史とのふれあい(地域・歴史資料室)
- ・ 「広がり」「つながり」のある運動施設・外部空間(グラウンド・体育館・校舎のつながり)

3) 安全・安心で、子どもたちが楽しく通える学校

○子どもたちの安全・安心を確保し、子どもたちが快適に生活できる施設

- ・ 管理部門から、校門、グラウンド、校舎の見通し(教師ステーションの分散など)
- ・ 放課後、休日など、学校開放時のセキュリティ

○潤いのある、交流の場等、心のゆとりと豊かさを育む空間や施設

- ・ 学校らしい校門からの空間
- ・ どこにいても「自然」が感じられる環境づくり(屋上庭園・中庭・いこいの園・ピオトープなど)

○学校生活の中で、集中とやすらぎの調和がとれた施設

- ・ 風通しが良く、十分な採光を確保できる普通教室 (片廊下、南向き)
- ・ 交通騒音の影響が少ない教室配置

4) 伝統を継承し、地域の風が行き交う学校

○地域の教育力を積極的に活用した教育活動ができる施設

- ・ 交流ホール、中庭、「まなびのみち」を中心とした学習・伝統・文化・スポーツなど、地域とのつながり

○140年の歴史と伝統を継承し、地球環境やまちづくりに配慮した地域のシンボルとなる施設

- ・ 地域・歴史資料室の活用
- ・ 黄檗山と連続した緑を活かした地域の景観形成
- ・ 周辺への圧迫感低減などの配慮

○地域の生涯学習やコミュニティの拠点となる施設

- ・ 体育館、グラウンド、交流ホールは外部から利用しやすい配置
- ・ 地域や学校の歴史空間の継承